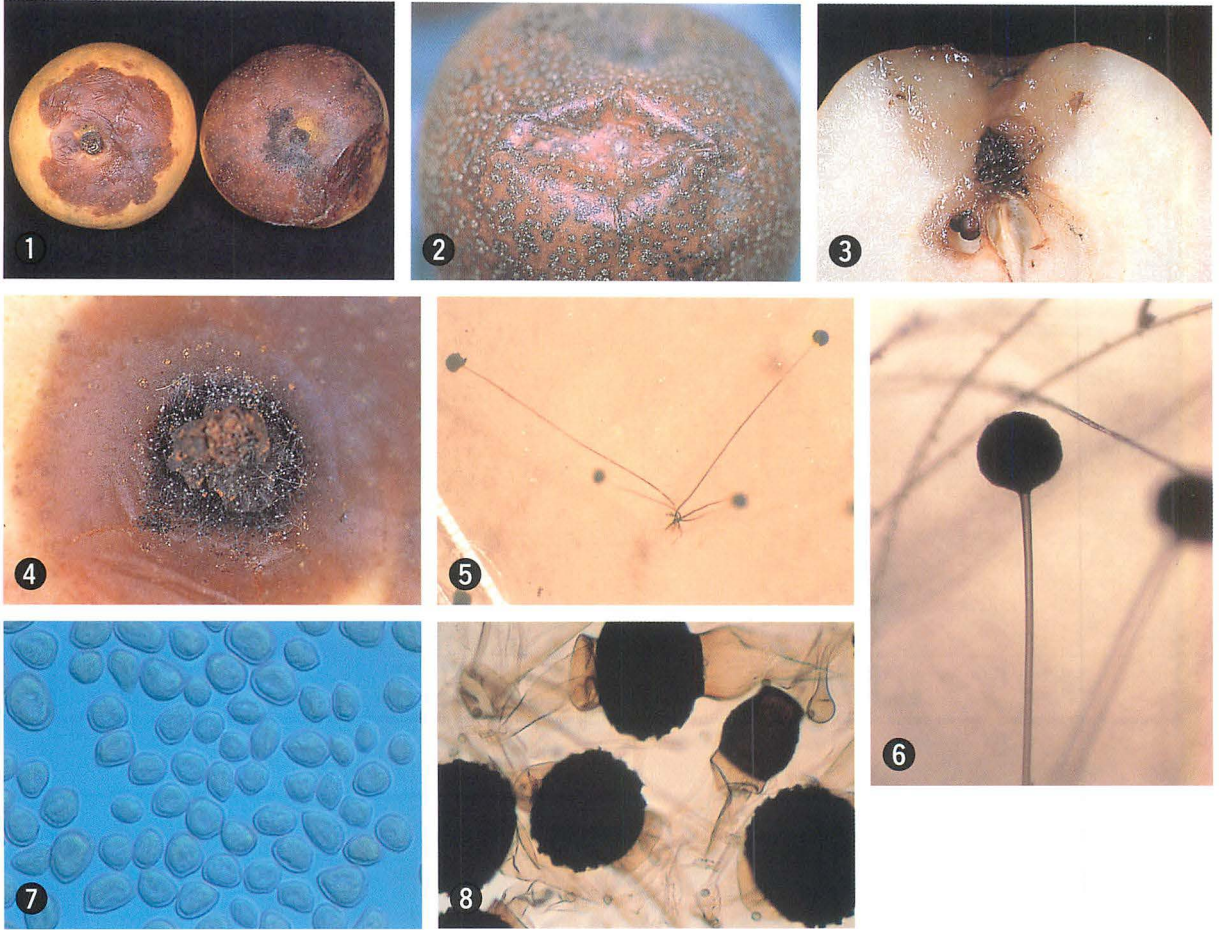


# ナシ黒かび病（新称）の発生生態と防除対策

(①~④、⑥：安田文俊、⑤、⑦、⑧：佐藤豊三氏原図、本文5ページ参照)



- ①：‘二十世紀’果実の自然発病による病徴
- ②：‘秋栄’果実の接種による病徴（接種5日後）
- ③：軟化腐敗した罹病果の縦断面（水浸状病斑）
- ④：罹病果上に形成された病原菌の胞子のう柄および胞子のう

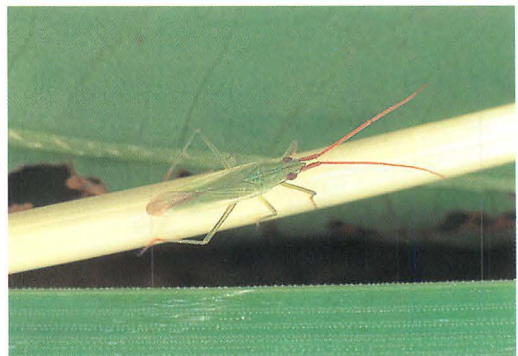
- ⑤~⑧：病原菌の形態
- ⑤：胞子のう柄、胞子のうおよび仮根（PDA培地、25℃、6日）
- ⑥：胞子のうおよび胞子のう柄（PDA培地、23℃、7日）
- ⑦：胞子のう胞子（BYA培地、25℃、8日）
- ⑧：交配実験で形成された接合胞子（PDA培地、20~25℃、7日）

# 日本産ホソミドリメクラガメ類の分類と同定

(佐藤貴子・安永智秀氏原図、本文13ページ参照)



ヒメホソミドリメクラガメ（雌）



アカヒゲホソミドリメクラガメ（雌）